PART4 列強の接近

Chapter1　ロシアの発展と拡大

目標
ロシア帝国成立の過程を学ぼう。
ロマノフ朝発展の過程を学ぼう。

1　ロシアの経緯

①ノヴゴロド国（９～15 世紀）

　スウェーデン系ノルマン人リューリクが建てたロシアの起源？

②**キエフ公国**（９～13 世紀）→ギリシア正教を国教化

　ウラディミル１世が全盛期

③モンゴルによる支配「［　　　　　　　　］**のくびき**」（13～15 世紀後半）

　約 240年間キプチャク＝ハン国が支配

④［　　　　　　　　］**大公国**（14 世紀前半～16 世紀）→**ロシア正教会**も確立

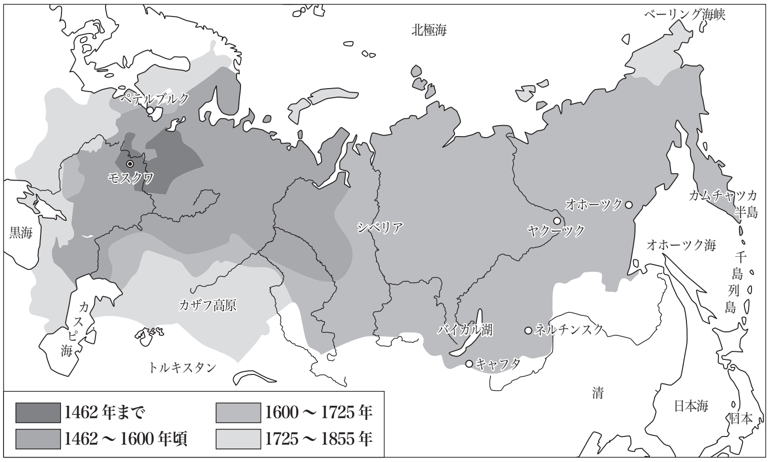
　A　**イヴァン３世**が東北ロシアを統一しモンゴルの支配から自立

　　初めて［　　　　　　　　］〔**皇帝**〕の称号を用いた**ロシア帝国**の皇帝

　B　**イヴァン４世〔雷帝〕**がツァーリの称号を正式に採用しアジアへの進出開始

　　あ　南ロシアに進出して恐怖政治を展開し農奴制を強化

　　い　コサックの首長**イェルマーク**に占領させたシベリアの一部も領土に編入



ロシアの領土拡大

2 ロマノフ朝の成立と発展

①**ミハイル = ロマノフ**が〔　　　　　　　〕**朝**創設（1613年）

②ステンカ = ラージンの農民反乱（1670～71年）

③〔　　　　　　　　　　　　〕**〔大帝〕**の改革→西欧文化の輸入と大国化

A　清と〔　　　　　　　　　　〕**条約**を締結（1689年）

　退位後に**キャフタ条約**へと発展（1727年）

B　カムチャツカ領有（1707年）

　退位後にベーリングがカムチャツカ探検（1725～30年）

C　**北方戦争**でスウェーデンを破る（1700～21年）

　デンマーク・ポーランド・プロイセンと結びカール 12 世を攻める

　※バルト海の覇者となり，沿岸の「ヨーロッパの窓」**ペテルブルク**に遷都。

D　南下してオスマン帝国を圧迫し黒海北部のアゾフ海に進出

3 ロマノフ朝の拡大

①女帝〔　　　　　　　　　　　　　　　〕の政策→初期は啓蒙専制君主

A　プガチョフの農民反乱後は貴族と妥協して農奴制を強化

B　オスマン帝国から**クリミア半島**を奪う

C　オホーツク海まで進出し日本に〔　　　　　　　　　〕を派遣

エカチェリーナ 2 世

②三次にわたる〔　　　　　　　　　　〕**分割**

A　第一次（1772年）→プロイセン・オーストリア・ロシア三国による

B　第二次（1793年）→プロイセン・ロシア二国による

C　**コシューシコ**の抵抗（1794年）

D　第三次（1795年）→プロイセン・オーストリア・ロシア三国による

　ポーランド王国は消滅し第一次世界大戦終結まで外国支配が行われる

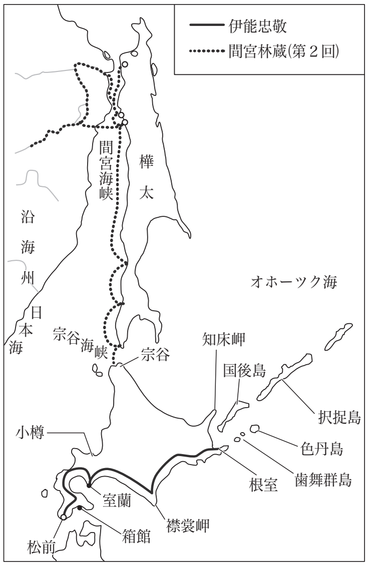
まとめ　モンゴルの支配から脱出したモスクワ大公国を経て，ロマノフ朝が成立。ピョートル 1 世，エカチェリーナ 2 世の時にロシア帝国は領土を拡大。

Chapter2　列強の接近と幕府の動揺

目標
江戸幕府が異国船打払令を出す原因となった国とは？
幕府の列強対応のターニングポイントとなった出来事を知ろう。

1　ロシアの接近と幕府の対応

1715年　**海舶互市新例**〔長崎新令・正徳新令〕で清・オランダとの貿易額を制限
　※「正徳の治」中の侍講**新井白石**による金・銀流出対策。
1739年　ロシアの探検船が各地に来航→「元文の黒船」
　※「享保の改革」中の**８代将軍徳川吉宗**は対応せず。
1778年　ロシア船が根室（翌年は厚岸）に来航し通商を要求→松前藩が拒否
1785年　老中**田沼意次**が〔　　　　　　　　　〕を千島探検に派遣
1792年　ロシア使節〔　　　　　　　　　　　　〕が**根室**に来航し通商を要求
　※**エカチェリーナ２世**が，漂流民**大黒屋光太夫**らも送り届けさせる。
　※「寛政の改革」中の老中**松平定信**は拒否するが，信牌を与える。
1798年　**近藤重蔵・最上徳内**らを南千島探検に派遣
1799年　幕府が東蝦夷地を直轄
1804年　ロシア使節〔　　　　　　　　　　〕が**長崎**に来航し通商を要求
　※アレクサンドル１世が，漂流民津太夫らも送り届けさせる。
　※「大御所政治」中の**11代将軍徳川家斉**は拒否。
1806年　**文化の撫恤令**〔薪水給与令〕→翌年撤回
1807年　幕府が西蝦夷地も直轄
1808年　**間宮林蔵**らが〔　　　　　〕を探検し島であることを発見
1811年～**ゴローウニン事件**（～13年）
　→高田屋嘉兵衛の活躍で日露関係は収拾
1821年　幕府が全蝦夷地を松前藩に還付
　※この年に〔　　　　　　　　　　〕らの
　『**大日本沿海輿地全図**』も完成。



北方探査図

2　イギリスの接近と幕府の対応

1808年　〔　　　　　　　　　　〕**号事件**

※**イギリス軍艦**がオランダ商船を追い**長崎**に乱入。

1825年　〔　　　　　　　　　　　　〕**〔無二念打払令〕**

1828年　**シーボルト事件**

1837年　〔　　　　　　　　〕**号事件**

※**アメリカ**の商船を 2 カ所で打ち払う。

1839年　**蛮社の獄**

※幕府の外交政策を批判した，尚歯会〔蛮学社中〕のメンバーを処罰。

1840年～〔　　　　　　〕**戦争で清が**〔　　　　　　　　〕**に敗れる**（～42年）

1842年　〔　　　　〕**の薪水給与令**

※「天保の改革」中の老中**水野忠邦**が異国船打払令を撤回。

3　列強の開国要求と幕府の対応

1844年　オランダ国王ウィレム 2 世が開国を勧告

1846年　アメリカ東インド艦隊司令長官**ビッドル**が浦賀に来航し通商を要求

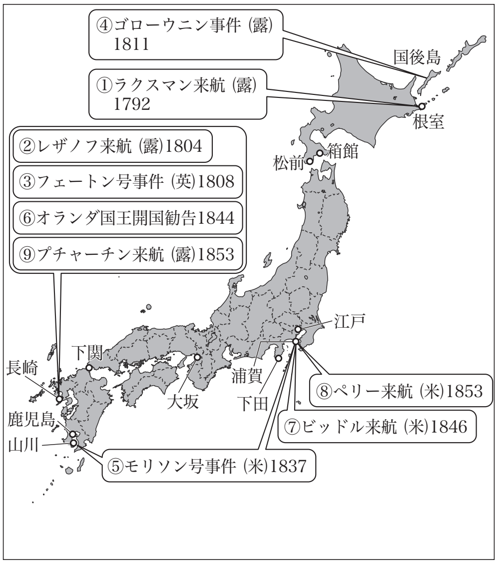
※アメリカは**捕鯨船・対清貿易船寄港地**として日本の開国を切望。

1853年　アメリカ東インド艦隊司令長官の〔　　　　　〕が黒船 4 隻で**浦賀**に来航

※フィルモア大統領の国書を提出。

ロシア極東艦隊司令長官の〔　　　　　　　　　　　〕が**長崎**に来航

※開国と国境画定を要求するが，本国で**クリミア戦争**が始まる。



列強の接近とその場所

まとめ　**江戸幕府が異国船打払令を出したきっかけは，イギリスの横暴だった。アヘン戦争で清がイギリスに敗れたことが，幕府の列強対応の転換点。**

第 1 講　PART4　確認問題

1 ウラディミル 1 世が全盛期を創出した国はどこか。

① モスクワ大公国　② キエフ公国
③ ノヴゴロド国　④ キプチャク＝ハン国

2 ツァーリの称号を正式に採用し，アジアへの進出を開始したモスクワ大帝国の皇帝はだれか。

① イヴァン 3 世　② イヴァン 4 世
③ ピョートル 1 世　④ ウラディミル 1 世

3 ピョートル 1 世〔大帝〕が 1689年に清との間で結んだ条約は何か。

① キャフタ条約　② フベルトゥスブルク条約
③ ニスタットの和約　④ ネルチンスク条約

4 ピョートル 1 世〔大帝〕がスウェーデンを破った戦いは何か。

① 七年戦争　② ファルツ戦争
③ 北方戦争　④ 三十年戦争

5 三次にわたってポーランド分割を行ったロマノフ朝の皇帝はだれか。

① ピョートル 1 世　② カール12世
③ エカチェリーナ 2 世　④ ヨーゼフ 2 世

6 ロシア使節のラクスマンが根室に来航し通商を要求した際，拒否した人物はだれか。

① 田沼意次　② 徳川家斉
③ 松平定信　④ 新井白石

7 1808年，樺太を探索し島であることを発見した人物はだれか。

① 間宮林蔵　② 最上徳内
③ 大黒屋光太夫　④ 近藤重蔵

8 1808年，イギリス軍艦がオランダ商船を追って長崎に乱入した事件は何か。

① モリソン号事件　② ゴローウニン事件
③ シーボルト事件　④ フェートン号事件

9 1842年に出された，日本に来航する外国船に関する法令を何というか。

① 異国船打払令　② 天保の薪水給与令
③ 海舶互市新例　④ 無二念打払令

10 1846年に浦賀に来航したアメリカ東インド艦隊司令長官はだれか。

① ビッドル　② レザノフ
③ ペリー　④ シーボルト

第 1 講　PART4　確認問題 解答

1 解答：②　ウラディミル 1 世はギリシア正教を国教化した。

①：14 世紀前半に，イヴァン 3 世が東北ロシアを統一して建てた国。
③：9 世紀に，スウェーデン系ノルマン人リューリクが建国したとされる。
④：13 世紀に，バトゥが南ロシアに建てた国。

2 解答：②　イヴァン 4 世は南ロシアに進出して恐怖政治を展開し農奴制を強化した。

①：初めてツァーリ〔皇帝〕の称号を用いたモスクワ大帝国の皇帝。
③：ロマノフ朝時代の皇帝。
④：キエフ公国の皇帝。

3 解答：④　ネルチンスク条約は，ピョートル 1 世〔大帝〕と清の康熙帝の間で締結された国境に関する協定。

①：ピョートル 1 世〔大帝〕退位後の 1727 年に，ロシアと清の間で締結された中央アジア付近の国境に関する協定。
②：1763 年にプロイセンとオーストリアが締結した，七年戦争の講和条約。
③：1721 年にロシアとスウェーデンが締結した，北方戦争の講和条約。

4 解答：③　ピョートル１世〔大帝〕はデンマーク･ポーランド･プロイセンと結び，カール 12 世を攻めた。

①：1756 年に起こった，プロイセンとオーストリアの対立を軸とした戦争。
②：1688 年に起こった，フランスのルイ 14 世の侵略戦争の一つ。
④：1618 年のベーメンの反乱から始まった，ヨーロッパ各国が介入した戦争。

5 解答：③　エカチェリーナ２世は，クリミア半島の領有やポーランド分割などにより，領土の拡張を図った。

①：カムチャツカを領有したり，北方戦争でスウェーデンを破ったりしたロシアの皇帝。
②：北方戦争で，ロシアのピョートル１世に敗れたスウェーデン国王。
④：神聖ローマ帝国〔オーストリア〕の皇帝。

6 解答：③　松平定信は寛政の改革を行った老中で，通商は拒否したが，ラクスマンに信牌を与えた。

①：最上徳内を千島探検に派遣した老中。
②：ロシア使節のレザノフが長崎に来航し通商を要求した際，拒否した将軍。
④：金・銀流出対策を行った侍講。

7 解答：①　間宮林蔵らが樺太を探検し，島であることを発見した。

②：1785 年に千島探検，1798 年に南千島探検に派遣された人物。
③：ロシアのエカチェリーナ２世によって日本に帰国した漂流民。
④：1798 年に南千島探検に派遣された人物。

8 解答：④　フェートン号事件がきっかけとなり，江戸幕府は 1825 年に異国船打払令〔無二念打払令〕を出した。

①：1837 年，アメリカの商船を 2 カ所で打ち払った事件。
②：1811 年, 国後島に上陸したロシア軍艦の艦長ゴローウニンらが, 日本の役人に捕らえられて監禁された事件。
③：オランダ商館のドイツ人医師シーボルトによる日本地図持ち出し未遂事件。

9 解答：②　老中水野忠邦が異国船打払令を撤回して出した。

①：1825 年に出された，清・朝鮮・琉球船以外の外国船の撃退を命じた法令。
③：1715 年に出された，清・オランダとの貿易額を制限する法令。
④：異国船打払令の別名である。

10 解答：①　アメリカは捕鯨船・対清貿易船寄港地として日本の開国を切望し，ビッドルを派遣した。

②：ラクスマンに次いで、1804 年長崎に来航したロシア使節。
③：1853 年，浦賀に来航したアメリカ東インド艦隊司令長官。
④：オランダ商館のドイツ人医師。